

第 37 回環境学習セミナー

『山村の生物文化多様性と生活の豊かさ』

現在、人口 700 人余の小菅村では、源流の郷やエコミュージアム日本村など、村づくりの取組みが継続的になされてきました。これまでの経験の蓄積を学び直し、また、他地域の優れた経験をともに学ぶためのセミナーにしたいと思えます。大きく変わろうとする世界のなかで、このくにをどのように再創造をするのか。まずは、地域社会学と日本史の視点からの話題提供をもとに、自然と向き合ってきた山村の豊かな暮らしを再認識し、深く考えるために、親密な話し合いの場を一緒しましょう。

日時：2016 年 6 月 25 日(土)

場所：山梨県小菅村中央公民館

参加費：資料代など 1,000 円(小菅村民無料)、懇親会参加費 3,000 円宿泊(1泊朝食) 6,500 円

連絡問合先：NPO 法人自然文化誌研究会 事務局 黒澤友彦

e-メール npo-inch@wine.plala.or.jp Tel: 0428-87-0165 携帯 090-3334-5328

主催：NPO 法人自然文化誌研究会、エコミュージアム日本村／ミュージーズ研究会

共催：NPO 法人 ECOPLUS、協力：東京学芸大学環境教育研究センター

後援：小菅村、小菅村教育委員会、小菅村商工会、小菅村観光協会

※この事業は 公益財団法人 国土緑化推進機構 「緑と水の森林ファンド」の助成を受けて実施します。

プログラム：

6 月 25 日(土)

昼の部～会場は 小菅村中央公民館

12:30～ 受け付け開始 小菅村中央公民館

13:00～13:20 趣旨案内と挨拶 青柳諭(ミュージーズ研究会代表)

13:20～14:20 「地域を知る、生きる、形作る(仮題)」

山下祐介(首都大学東京・准教授、地域社会学・環境社会学)

地域を守る人とはだれなのか、誰がどういう形で、その土地の歴史や文化を継承していくのか、白神山地の山村からを考えましょう。

14:20～14:30 休憩

14:30～15:30 「山の恵みに彩られた山村の暮らし(仮題)」

白水智(中央学院大学・教授、日本史・山村史)

山には多くの資源があり、住民はそれを活かす多様な知識や技術をもって、豊かな暮らしをしてきました。大震災に見舞われた長野県栄村(秋山郷)における文化財を活かした復興支援活動についても紹介します。

15:30～15:40 休憩

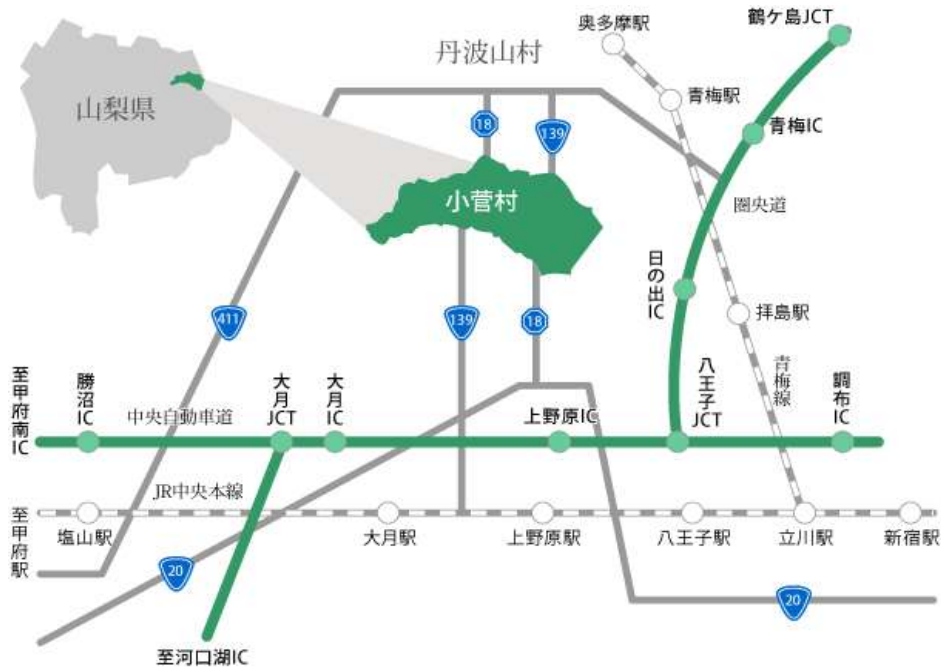
15:40～16:40 意見交換会など

16:40～17:00 まとめ 木俣美樹男(東京学芸大学名誉教授、民族植物学)

夜の部の会場は 広瀬屋旅館

18:00～20:00 座談会

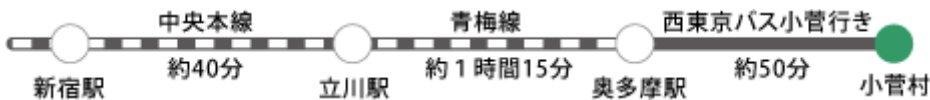
交通案内：



お車でお越しの方

- 奥多摩駅より→(国道411号)→(国道139号)→小菅村(約30分)
- 青梅ICより→(国道411号)→(国道139号)→小菅村(約70分)
- 大月ICより→(国道20号)→(国道139号)→小菅村(約35分)
- 上野原ICより→(国道20号)→(県道18号)→小菅村(約45分)

電車・バスでお越しの方



参加申込書

参加者氏名：

所属：

連絡先：eメール

申し込みは下記の申し込み先にeメールでお願いします。参加費の事前送金の場合は下記の郵便振替口座にお願いします。6月20日までにお申し込みください(参加費は当日でも大丈夫です)。

Fax：[0428-87-0165](tel:0428-87-0165)

eメール：npo-inch@wine.plala.or.jp

郵便振替口座：00100-2-665768 特定非営利活動法人自然文化誌研究会

参加費：必要な項目に○を付けて、合計金額を書いてください。

① 資料代など1,000円、2) 懇親会参加費3,000円、3) 宿泊(1泊朝食)6,500円

合計 _____ 円